

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年12月23日（月）～29日（日）〔令和6年第52週〕及び令和6年12月30日（月）～令和7年1月5日（日）〔令和7年第1週〕の感染症発生状況

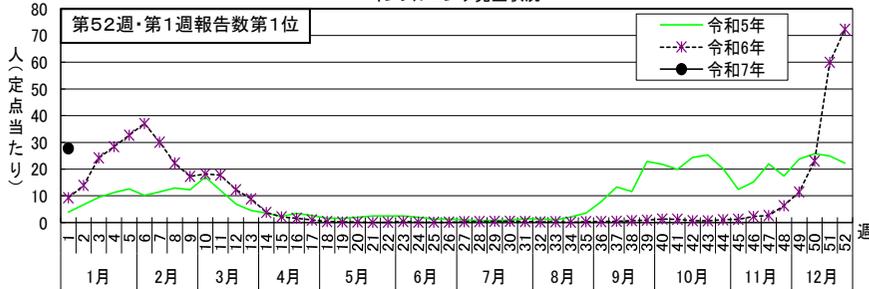
令和6年第52週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）新型コロナウイルス感染症でした。

令和7年第1週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）新型コロナウイルス感染症 3）感染性胃腸炎でした。

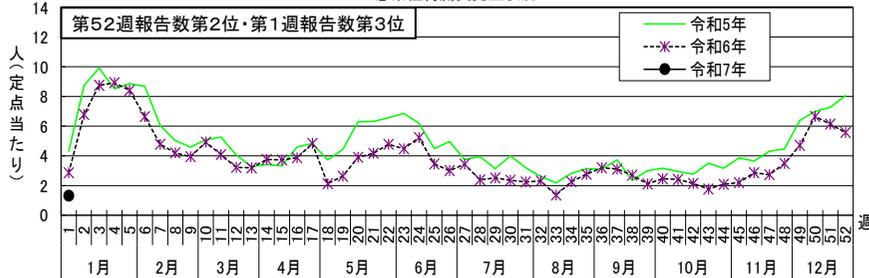
令和6年第52週のインフルエンザの定点当たり患者報告数は72.28人と前週（59.92人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

令和7年第1週は、年末年始で多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。

インフルエンザ発生状況



感染性胃腸炎発生状況



新型コロナウイルス感染症発生状況



海外から帰国後は体調変化に注意しましょう！

年末年始の長期休暇に海外旅行をされた方も多いかと思いますが、帰国後に体調不良を訴える方は多いとされており、国内で発生していない感染症に罹患している可能性もあります。帰国後に発熱や下痢、発しん等の症状がみられる場合は、事前に医療機関に電話等で相談の上、受診を検討しましょう。また、受診の際には適切な診断を受けるために、症状に加えて、渡航先や渡航期間、渡航中の行動歴等を医療機関にお伝えください。

発熱

発展途上国から帰国した人の2～3%にみられます。自然におさまることもありますが、一部の感染症は急速に進行し、命にかかわる場合があります。

下痢

海外旅行に行った人の半数以上が旅行先で下痢を起こすといわれています。通常は数日でおさまりますが、症状が続く場合は、寄生虫による感染症等も考えられます。

発しん

ウイルスや細菌、寄生虫等が原因で出現することがあります。発熱を伴う場合はマラリア等の全身性感染症の可能性もあり、緊急で処置が必要になることもあります。

医療機関受診前のチェックリスト

- 生の水を飲んだ
- 氷入りの飲み物を飲んだ
- 加熱していない野菜や果物を食べた
- 屋台の食品を食べた
- 湖や川の水を飲んだ
- 湖や川の水を触った
- 湖や川の中に入った（泳いだ）



- 蚊に刺された
- ダニに咬まれた
- 動物に咬まれた
- 動物に触った
- 不特定対象の性行為があった
- 周囲に体調の悪い人がいた
- 現地で治療を受けた



ワクチン接種歴も確認しましょう！

- 麻しん
- A型肝炎
- B型肝炎
- 狂犬病
- ポリオ
- 破傷風



厚生労働省検疫所（FORTH）ホームページ 「病院にかかる前のチェックシート」から抜粋